

## 第2回「京都スマート情報化プラン

### ～府民ニーズに迅速に応える府庁づくり～」検討会議

日時：平成26年8月22日（金）09：00－10：40

※Web会議での開催

#### 【主な意見】

京都スマート情報化プラン～府民ニーズに迅速に応える府庁づくり～(中間案)について

- (1) 新規施策のスキーム①「府民の方々のニーズに迅速、的確に対応するため、モバイル環境を活用し、現地現場での職員の課題解決能力の向上を実現」について
  - ・モバイル端末の持ち出しに際しては、ワンタイムパスワードやシンクライアントの利用と共に、職員の接続ログ記録等のセキュリティ対策も実施すべき。
  - ・府民の方々への迅速な対応の他にも、府庁内の業務時間の短縮等、さまざまな側面で効果が期待できる。
- (2) 新規施策のスキーム②「被災時等でも府の行政機能を維持するため、モバイル環境を活用し、職員が能力を最大限発揮可能な業務継続体制を実現」について
  - ・緊急時における在宅等、職場外での業務実施には、日頃からの訓練が重要。
  - ・在宅勤務については、育児期間中等の柔軟な勤務によるワークライフバランス向上のためにも積極的に進めるべき。
- (3) 新規施策のスキーム③「さらなる府民満足度向上のため、府民の方々に寄り添い、お役に立つ情報をお届けする「コンシェルジュサービス」を導入し、新たな時代に即したサービスを実現」について
  - ・Webサイトにおける利用者の閲覧履歴の分析や活用には、個人情報保護の観点から、利用者との合意が必要。
  - ・他自治体での取組を参考にしながら、よりの確に府民ニーズに対応可能なサービスを実現すべき。
- (4) その他
  - ・意思決定の迅速化や災害時対応等のため、どこでも迅速にWeb会議が可能なシステムを導入すべき。
  - ・より柔軟な業務体制構築のため、BYOD(私的デバイス活用)の導入も検討すべき。
  - ・プランの推進にPDCAサイクルを組み込み、継続的にプラン見直しを図るべき。
  - ・ペーパーレス化推進のため、会議等資料の電子化を進めるべき。
  - ・紙文書での通知等、ペーパーレス化の妨げとなる事務のルールを見直すべき。